

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらプラス みはた			
○保護者評価実施期間	R6年 12月 16日		～	R7年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日		～	R7年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設が広く天井が高い部屋もありゆったりと過ごせる空間。部屋数、部屋の広さがあるため、活動の幅も広げることができる。	学習、運動など活動に適した部屋の役割や空間作りを意識している。	同世代との交流、異年齢との交流のバランスを意識して様々な活動での配慮面を思案している。
2	利用児童が少ないため、個別対応にて手厚く支援を行える。放課後等デイサービスとの多機能型のため、移行がスムーズになる。	児童の発達段階に合わせた個別療育、保護者様のニーズに合わせた利用が行える。	年長児に対しては、放課後等デイサービスに移るための利用をお伝えしている。放課後の時間での利用、場所や人、送迎車など環境への慣らしを意識して関わっている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数が少ないため個別療育しか行えない。	集団での活動提供ができていない。	周知活動を行う
2			
3			